

全米商工会議所・米日経済協議会会員企業とのテレビ会議
菅総理発言（令和3年7月15日）

1 冒頭

ピーターソン会長、
御出席の皆様、

本日、皆様と意見交換ができる貴重な機会を大変嬉しく思います。

2 日米同盟の重要性

私は、4月に、バイデン政権発足後、初の外国首脳として訪米しました。新型コロナの制約ゆえ、残念ながら皆様と直接お会いすることはできませんでしたが、バイデン大統領やハリス副大統領との会談を通じて、日米同盟の固い絆を国際社会に力強く示すことができた、大変、実りの多い訪問となりました。

新型コロナ、気候変動、経済回復、そして、権威主義との競争など、国際社会が直面する様々な課題の中で、日米こそが、自由で公正な経済秩序の維持・強化を含め、「自由で開かれたインド太平洋」の具体化に向けた取組をけん引していく。そして、ポストコロナの国際秩序づくりをリードしていく。こうした点を大統領との間でしっかり確認できました。

また、日米両国が、グリーン・デジタルをはじめとするイノベーションや科学技術、強^{きょうじん}靱なサプライチェーンの確保を含む経済安全保障といった分野での協力を進めていくことでも一致しました。

これらの成果を踏まえ、本日御参加の皆様とも緊密に連携しながら、様々な分野で日米協力の具体化に取り組み、日米同盟の更なる強化につなげていきたいと思っております。

3 日本の成長戦略

日米同盟は、我が国の外交・安全保障の基軸であるとともに、地域、国際社会の平和と繁栄の^{いしずえ}礎です。そして、私は、機能する日米同盟の前提となるのが、成長し続ける「力強い日本」だと考えています。

私の政権では、その「力強い日本」をつくるためにまずは、新型コロナウイルスの克服に全力を尽くします。その「切り札」となるのがワクチンです。我が国では、米国の企業の協力も得て、ワクチン接種の加速化に全力を挙げており、1日100万回接種を達成しております。国民への速やかな接種に、引き続き万全を尽くしてまいります。

同時に、ポストコロナ時代を見据え、我が国自身が、改革・イノベーション志向の国であり続けるための「成長の原動力」を、積極的につくり出していく決意です。

先月、私の内閣となって初めて「骨太の方針」を決定し、「グリーン」、「デジタル」、「活力ある地方づくり」、「少子化対策」、この4つを「成長の原動力」と位置づけました。

この4つの柱について、簡潔にお話ししたいと思います。

(グリーン社会の実現)

まず、一つ目の柱である「グリーン社会の実現」は、人類全体で取り組むべき待ったなしの課題です。

そして、そのための対応は、経済活動の制約ではなく、むしろ、新たな投資やイノベーションを生み、経済を持続的に成長させる原動力にもなる。

こうした思いで、昨年、私は、これまで行政の縦割りによって踏み込めなかった「2050年カーボンニュートラル」を決断しました。

そして、この長期目標と統合的で、野心的な目標として、2030年度において、温室効果ガスの2013年度から46%削減を目指し、さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく決意です。

こうした目標を掲げることには慎重な意見もありました。

しかし、私は、新たに創設した2兆円の基金や税制措置、規制改革などあらゆる施策を総動員すれば、必ずや民間企業の大胆な発想とイノベーションが、産業の変革と力強い成長を生み出すと信じています。

これから我が国に生まれる大きなグリーン市場への皆様の投資を、大いに歓迎いたします。

(デジタル社会の推進)

「成長の原動力」の二つ目の柱は、「デジタル」です。

ポストコロナにおいては、デジタルを最大限活用して、労働や経済活動の効率性・生産性を上げることが不可欠です。

私は、最先端のデジタル国家を目指すべく、改革の司令塔となるデジタル庁を9月1日に始動させます。

大胆な規制改革を断行して、経済・社会のデジタル化を推進してまいります。

(活力ある地方づくり)

三つ目の柱となるのが「活力ある地方づくり」です。

テレワーク拡大、デジタル化といった変革を後押しして、地方への大きな人の流れを生み出します。また、海外で人気のある日本の農産品の輸出を拡大し、地方に成長産業をつくっていきます。

活力ある地方を創り、地方の所得を引き上げ、日本全体の活性化を目指します。

(少子化対策)

そして、四つ目の柱は、「少子化対策」です。

ポストコロナの将来を生きる、子どもたちこそ、我が国の希望そのものです。結婚・出産の希望を叶えるため、雇用環境の改善や子育て支援にしっかりと取り組むとともに、子どもの貧困、児童虐待、いじめといった多岐にわたる課題の一つひとつにも目を向け、子どもたちの安心を守るための環境づくりを進めていきます。こうした取組を通じ、少子化の克服や、子供を産み育てやすい社会の実現につなげていきます。

私の政権では、ただいまお伝えした、これらの4つを「成長の原動力」として、重点的な投資を行い、スピード感を持って改革を進め、我が国の社会・経済構造の転換につなげていきたいと考えます。

4 結語

いよいよ来週、ここ東京において、オリンピック・パラリンピック競技大会が開会します。万全な感染対策を講じ、安全・安心な大会を実現する決意です。

世界が、新型コロナという大きな困難に直面する今だからこそ、
団結し、人類の努力と叡智^{えいち}によって、難局を乗り越えていけるこ
とを、世界に向けてこの日本から発信していきたいと思えます。

同時に、「スポーツの力」を通じて、未来をにう、子どもや若
者にも、夢と感動を伝えるとともに、パラリンピックを通じ
て、障がい者の方々も、共に社会で活躍する「共生社会」の実
現につなげていきたいと考えます。

皆様の御理解と御支援を心よりお願い申し上げます。

御清聴、ありがとうございました。